

小さな空手家 夢は大きく！

高塚 彩夏 さん



PROFILE

たかつか あやか(白浜区・9)
白羽小学校3年。全日本空手道連盟少年
初段。4歳から兄の影響で空手を始める。
空手の形を披露する姿はとて小学生に
は見えない。

優勝にかけた思い

8月6・7日、東京武道館
で開催された第16回全日本少
年少女空手道選手権大会で、
高塚彩夏さんは小学校3年生
女子の形の部で優勝した。

全国大会には1年生の時か
ら出場していた彩夏さん。し
かし、全国レベルとなると勝
ち進むのも容易ではない。昨
年の全国大会はベスト8に終
わった。

今年の大会に向けては、悔
しさをバネに「絶対に優勝す
る」と練習の時から口にして、
自分を鼓舞してきた。その優
勝への熱意が十二分に発揮さ
れ、全国の予選を勝ち抜いて
きた93人の頂点に立った。

上達の秘密

彩夏さんの所属する道場
「颯志館空手道」の普段の練
習は週4回。平日は2時間
半、土曜日は3時間活動して
いる。全国大会前には他の道
場へ行き、出稽古もしていた
彩夏さんはほぼ毎日練習漬
けだった。練習ばかりの日々
でも空手が大好きな彩夏さん
はいつも楽しく練習している。
「上手になれたのは道場で

も家でもたくさん練習してき
たから」と話す彩夏さん。形
の動作で納得できない部分が
あれば家に帰ってから、親
からアドバイスを受けながら
練習する。

空手が楽しいと感じるとき
は、練習を重ねて難しい動作
が納得のいくレベルでできた
ときや技が決まった瞬間だと
教えてくれた。練習を楽しみ、
成果が出るまでやり抜く粘り
強さが彩夏さんの強みなのだ
ろう。

次の目標を目指して

今後の目標を尋ねると「6
年生まで1位を取り続けた
い」と答えてくれた。4年連続
で1位を取るの簡単ではな
いが、口にし続けた全国大会
優勝を実現させた彩夏さんな
ら、この言葉も実現するの
はないか、そう期待させてく
れる。

2020年の東京オリン
ピックから正式種目となる空
手。「4年後はまだ無理だけ
ど8年後はオリンピックに出
たい」と将来の夢に目を輝かせ
た。8年後には彩夏さんは17
歳。今もりりしさを見せる彩
夏さんの成長が楽しみだ。